

佐野市景況レポート

平成27年4～6月期



佐野商工会議所

〒327-0027 佐野市大和町 2687-1

TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517

HP <http://www.sanocci.or.jp>

E-mail s-cci@sanocci.or.jp

調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成27年4～6月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、197社(回答率67.9%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

仕入コスト増加によるマージンの悪化

市内各事業所の景況コメントには、厳しい景況感のコメントが掲載されている。ただ、原料高騰・労働力不足・受注減の中にあつて、販売価格の値上げ・新企画等の対応をされている事業所もある。また、地方・不況業種においても、業績の良い中小企業は存在する。良い中小企業の共通する経営の特徴は、問題を好不況等の外部環境ではなく、「問題は内にある」と捉えている。

7月上旬、島根県の介護施設において、「いい会社」づくりのための経営者・社員ヒアリングをおこなった。驚いたことは、一般社員の仕事のやりがい・意欲の高さである。通常、一般社員のヒアリング内容は、仕事のやりがい感は低く、経営者批判も出てくる。当社一般社員の高いやりがい感は、経営者の姿勢あるようだ。それは、①社員の幸福を願う理念と徹底、②利用者志向、③経営者の社員への下から目線である。当社の経営は順調と言えなく問題もあるが、高い志を持ち頑張っている姿をみると、周りが応援したくなるようだ。

佐野市景況調査概況(平成27年4～6月期)をみると、全業種業況DI指数は▲17.7、前期(3月期)比▲3.3ポイントの業況悪化となった。利益DI指数は▲25.8、前期比▲6.6の悪化となった。売上高DI指数は▲21.2(前期比▲9.2)、販売価格DI指数は▲0.9(前期比+5.0)、仕入価格DI指数は32.1(前期比+13.2)、仕入価格の上昇に対し販売価格の上昇は低く、価格転嫁が進まずマージンが縮小している。

今後3ヶ月間(平成27年7～9月見通し)の全業種業況DI指数は、▲14.7、前期比+0.5と前期並を見込んでいる。予想売上高DI指数は▲16.2(前期比+1.2)、予想仕入価格DI指数は21.4(前期比+1.7)と高止まり、販売価格DI指数は▲4.7(前期比▲3.8)と、売上高は前期並み、マージン悪化を予想する。

一方、日銀短観6月調査では、大企業業況判断DI指数は19(前期比+3)、中小企業DI指数は2(前期比0)、と大企業の景況感改善と中小企業との景況感格差が示された。

次に、円安影響の調査結果(平成27年4～6月期)をみると、①大幅なプラス影響：12%(前期比+12%)、②若干のプラス影響：8%(前期比+2%)、③影響ない：34%(前期比▲15%)、④若干のマイナス影響：34%(前期比0%)、⑤大幅なマイナス影響：12%(前期比+1%)と、前期調査に比べ円安のプラス影響が増加し、影響なしが減少した結果となったが、評価ポイント▲26と、依然、市内調査企業においては円安のマイナス影響が大きい。

調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清(中小企業診断士)

☆ 業況について（平成 27 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲17.7、前期比 3.3 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 0.0 ポイント、②設備業▲5.9 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲7.0 ポイント、④飲食店▲7.7 ポイント、⑤繊維品製造業▲13.6 ポイント

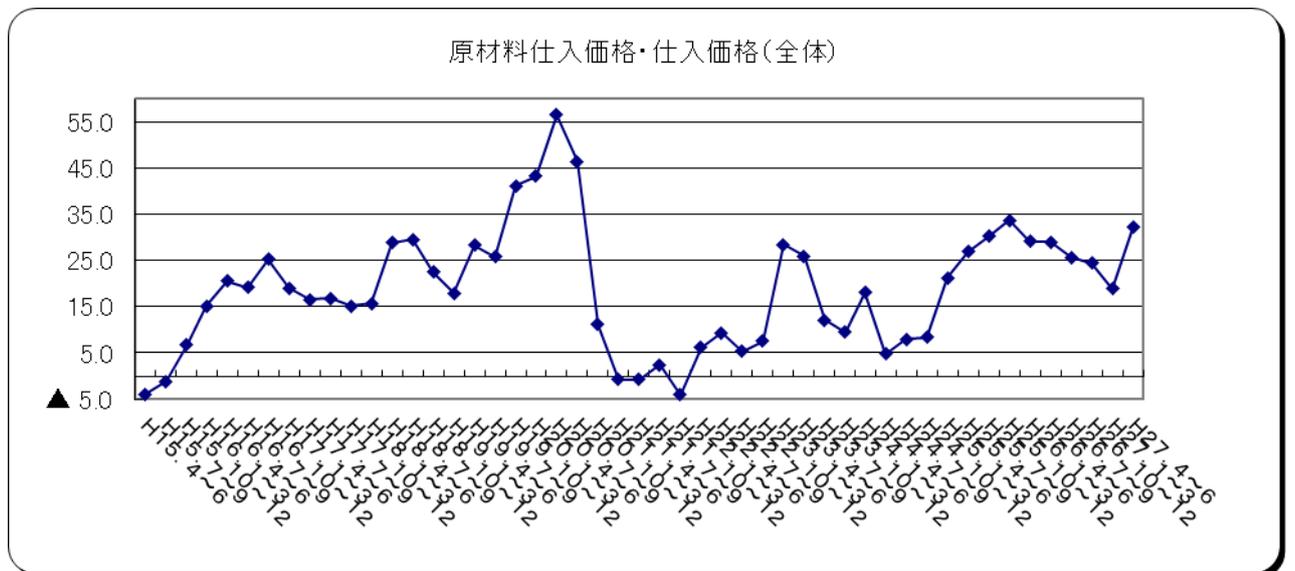


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について（平成 27 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数 32.1、前期比 13.2 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①小売業（飲・食料品）69.2 ポイント、②飲食店 66.7 ポイント、③食品製造業 66.1 ポイント、④卸売業 64.3 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）36.0 ポイント

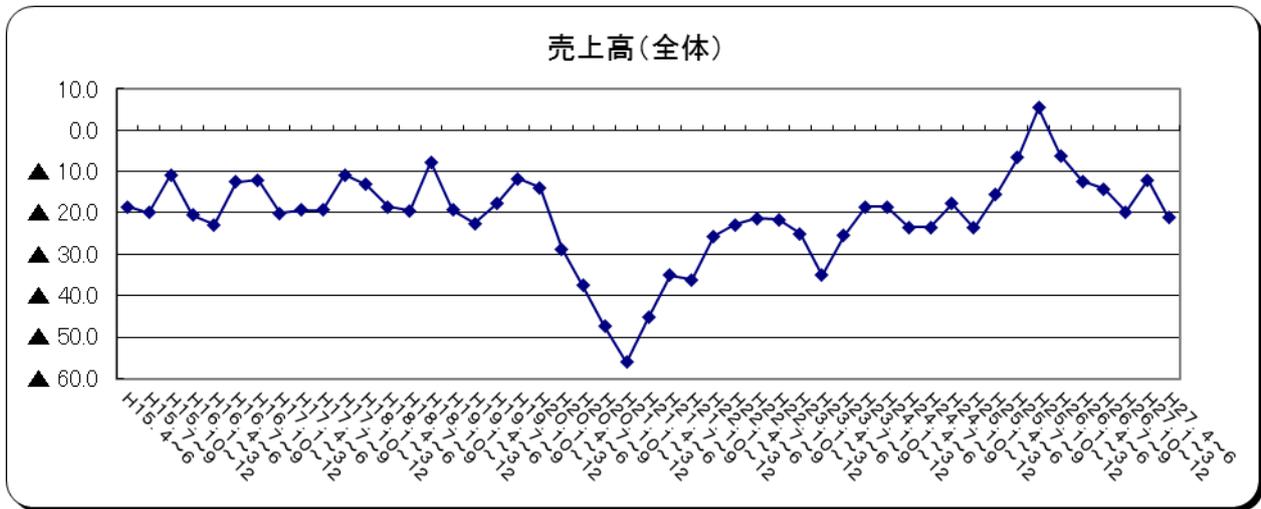


☆ 売上高について（平成 27 年 4～6 月期実績）

全業種 DI 指数▲21.2、前期比 9.2 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 3.8 ポイント、②その他の製造業 0.0 ポイント、③化学・プラスチック製造業▲11.7 ポイント、④設備業▲12.0 ポイント、⑤食品製造業▲20.7 ポイント

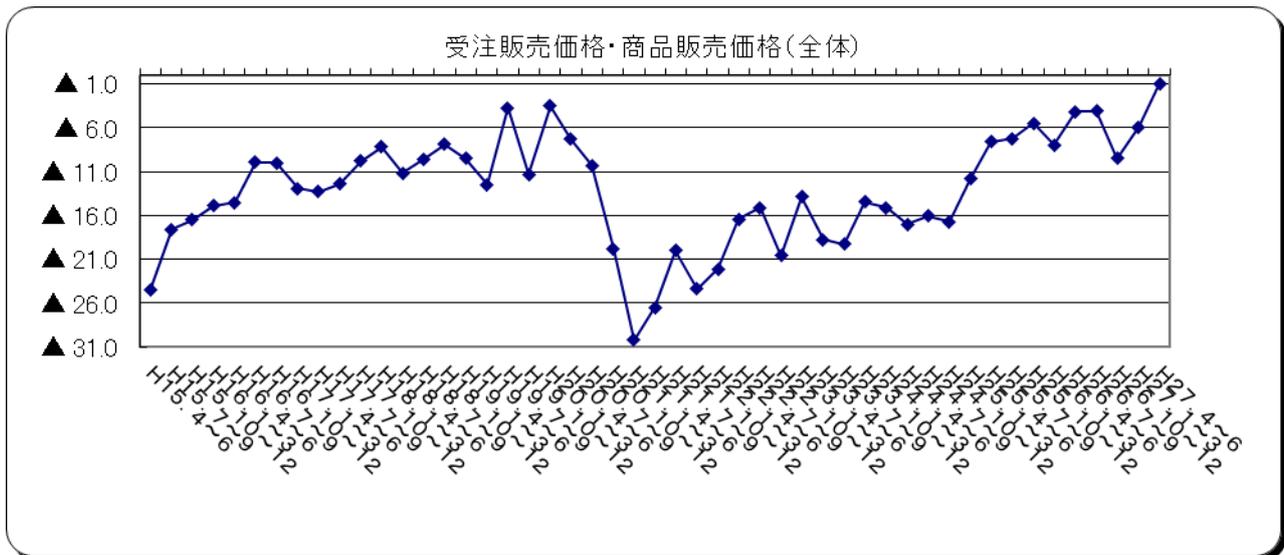


☆ 受注販売価格・商品販売価格について (平成 27 年 4~6 月期実績)

全業種 DI 指数▲0.9、前期 5.0 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業及び小売業 (飲・食料品) 13.0 ポイント、③卸売業 9.7 ポイント、
- ④飲食店 7.0 ポイント、⑤建設業及び繊維品製造業、その他の小売業 (大型店含む) 0.0 ポイント



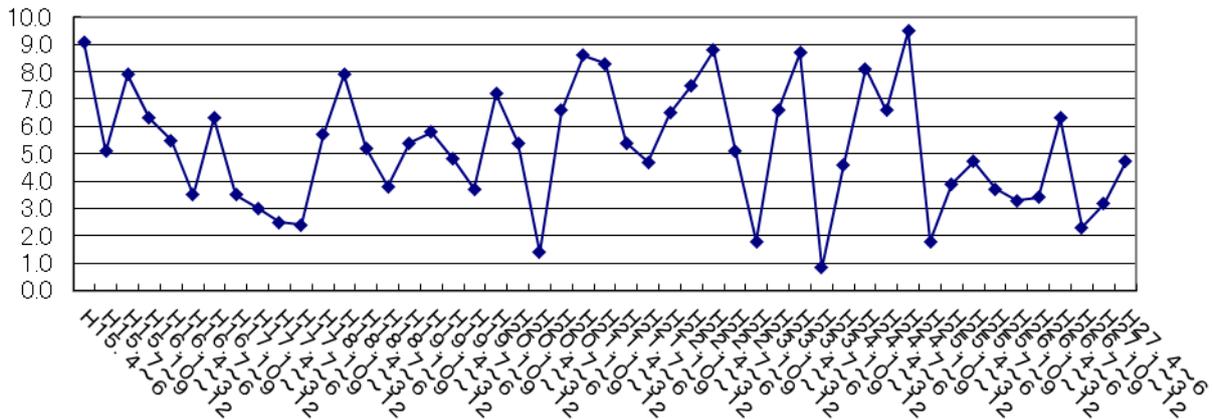
☆ 製品 (材料) 在庫・商品在庫について (平成 27 年 4~6 月期実績)

全業種 DI 指数 4.7、前期比 1.5 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業 16.5 ポイント、②その他の製造業 13.0 ポイント、③食品製造業 8.6 ポイント、④建設業 7.7 ポイント、⑤小売業 (飲・食料品) 6.4 ポイント

製品(材料)・商品在庫(全体)



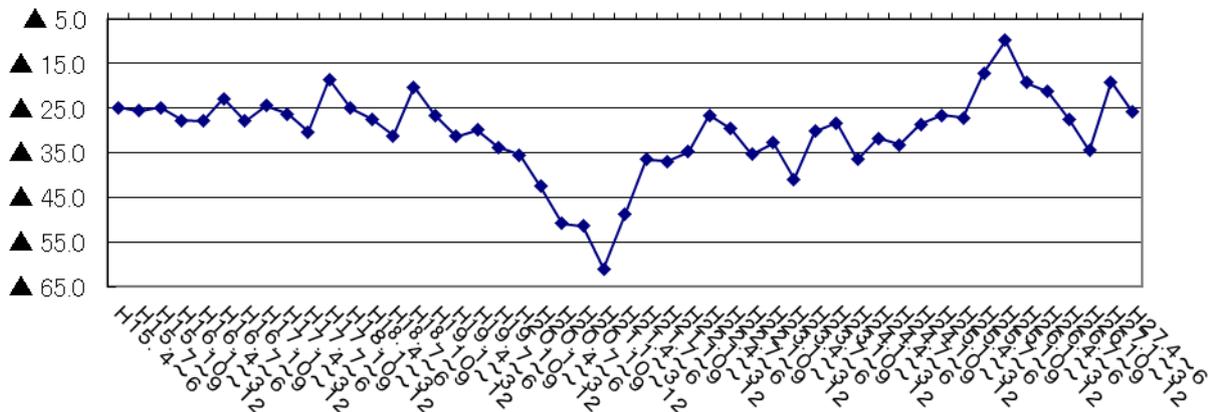
☆ 利益状況について (平成 27 年 4~6 月期実績)

全業種 DI 指数 ▲25.8、前期比 6.6 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①設備業及びその他の製造業 0.0 ポイント、③機械・金属製造業 ▲3.7 ポイント、④食品製造業 ▲24.6 ポイント、⑤卸売業 ▲29.0 ポイント

利益状況(全体)



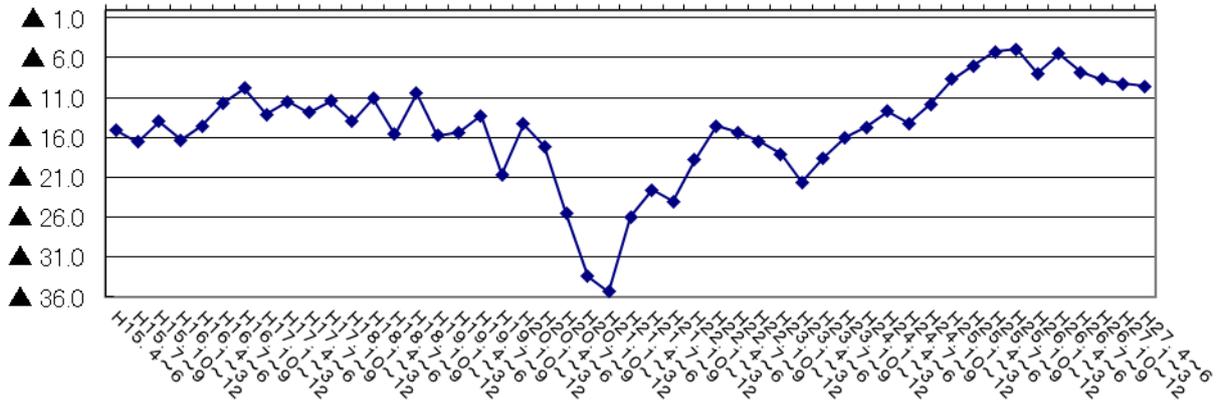
☆ 資金繰りについて (平成 27 年 4~6 月期実績)

全業種 DI 指数 ▲9.6、前期比 0.4 ポイント低下

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業 3.4 ポイント、②設備業及びその他の製造業、卸売業、小売業 (飲・食料品) 0.0 ポイント

資金繰り(全体)



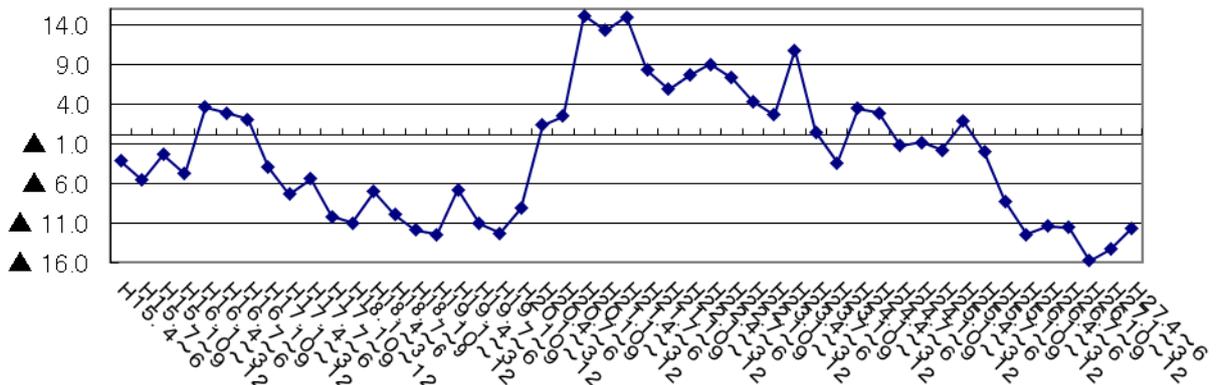
☆ 労働力について (平成 27 年 4~6 月期実績)

全業種 DI 指数▲11.7、前期比 2.7 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業及び小売業 (飲・食料品) 0.0 ポイント、③食品製造業▲4.5 ポイント、④繊維品製造業▲6.7 ポイント、⑤機械・金属製造業▲6.8 ポイント

労働力(全体)



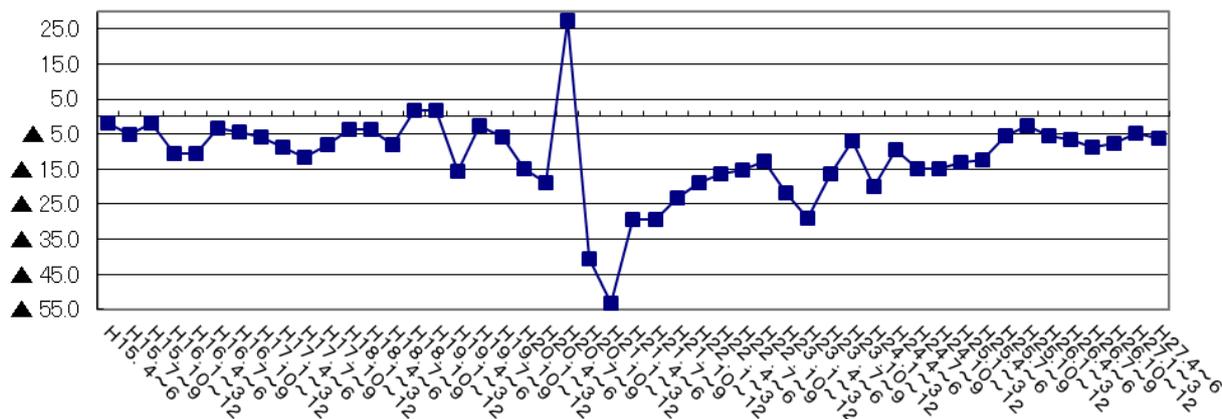
☆ 設備稼働率について (平成 27 年 4~6 月期実績) (建設・設備・製造業関係)

全業種 DI 指数▲6.3、前期比 1.7 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業 13.6 ポイント、②設備業及び食品製造業 0.0 ポイント、④建設業▲8.1 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲11.1 ポイント

設備稼働率(建設・設備・製造業)



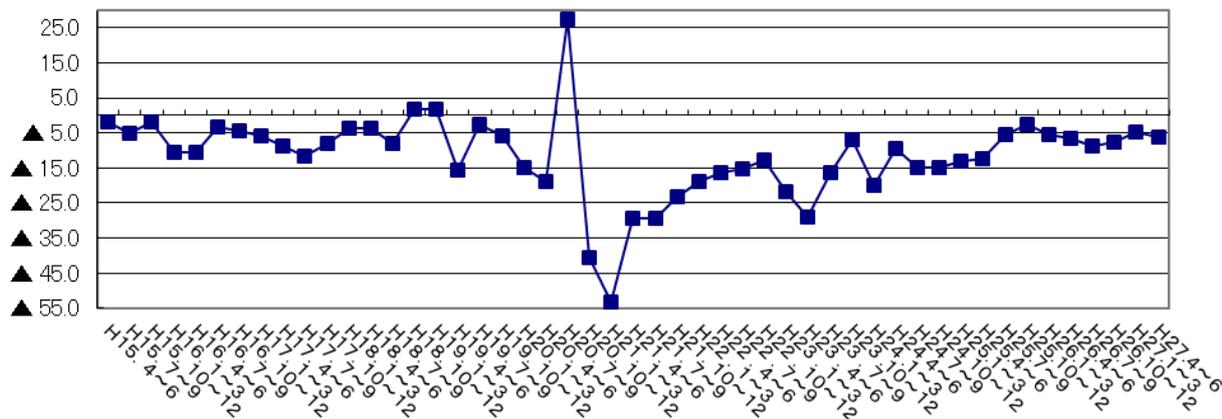
☆ 販売経費について (平成 27 年 4~6 月期実績) (商業・サービス業関係)

全業種 DI 指数 9.3、前期比 6.5 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①飲食店 22.0 ポイント、②卸売業 17.6 ポイント、③その他の小売業 (大型店含む) 17.0 ポイント、④小売業 (飲・食料品) 6.7 ポイント、⑤サービス業▲11.0 ポイント

設備稼働率(建設・設備・製造業)



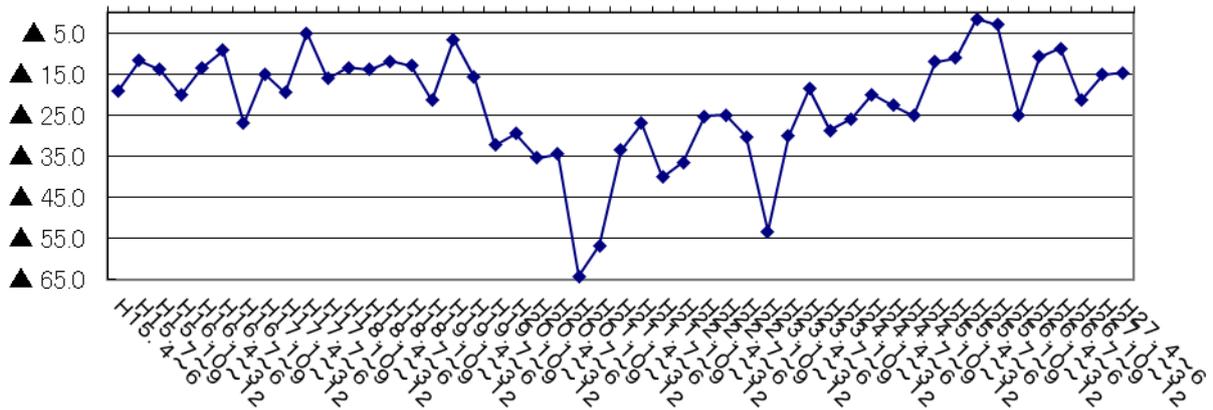
☆ 今後 3 ヶ月間 (平成 27 年 7~9 月期の見通し) の業況について

全業種 DI 指数▲14.7、前期比 0.5 ポイント改善

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業及びその他の製造業 0.0 ポイント、③その他の小売業 (大型店含む) ▲6.1 ポイント、④食品製造業▲9.7 ポイント、⑤設備業▲12.0 ポイント

業況予想(全体)



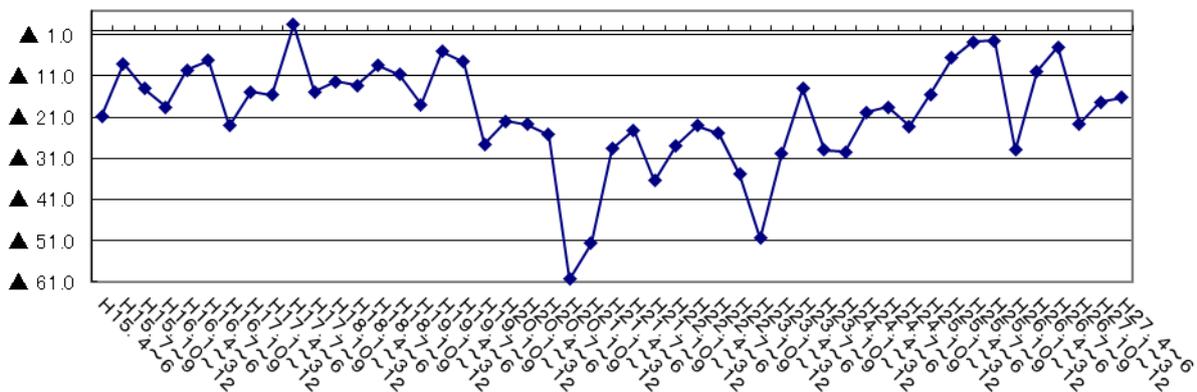
☆ 今後3ヶ月間(平成27年7~9月期の見通し)の売上高について

全業種DI指数▲16.2、前期比1.2ポイント改善

業種別DI指数(上位5業種)

- ①その他の製造業0.0ポイント、②その他の小売業(大型店含む)▲6.1ポイント、③繊維品製造業▲7.0ポイント、④化学・プラスチック製造業▲7.5ポイント、⑤機械・金属製造業▲10.6ポイント

売上高予想(全体)



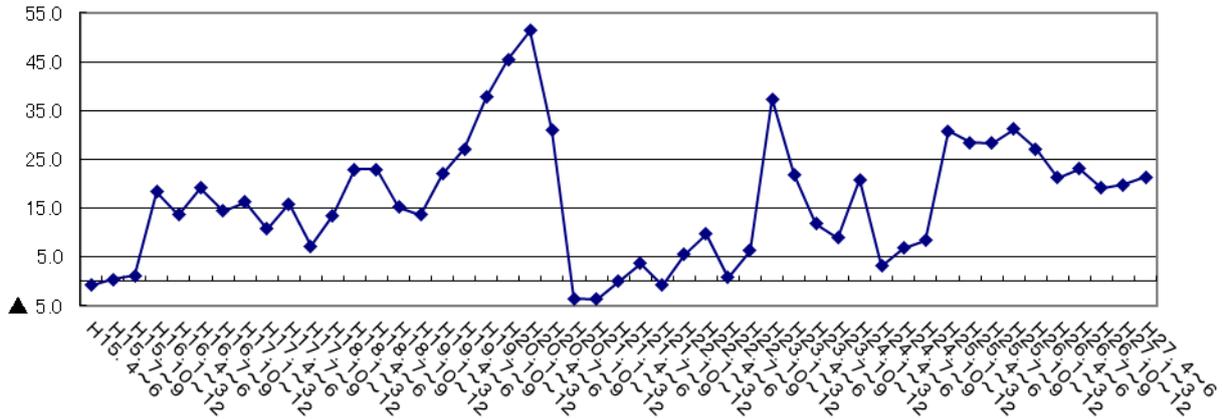
☆ 今後3ヶ月間(平成27年7~9月期の見通し)の原材料仕入価格・仕入価格について

全業種DI指数21.4、前期比1.7ポイント上昇

業種別DI指数(上位5業種)

- ①食品製造業48.4ポイント、②飲食店47.4ポイント、③卸売業37.5ポイント、④サービス業28.3ポイント、⑤繊維品製造業27.3ポイント

原材料仕入価格・仕入価格予想(全体)



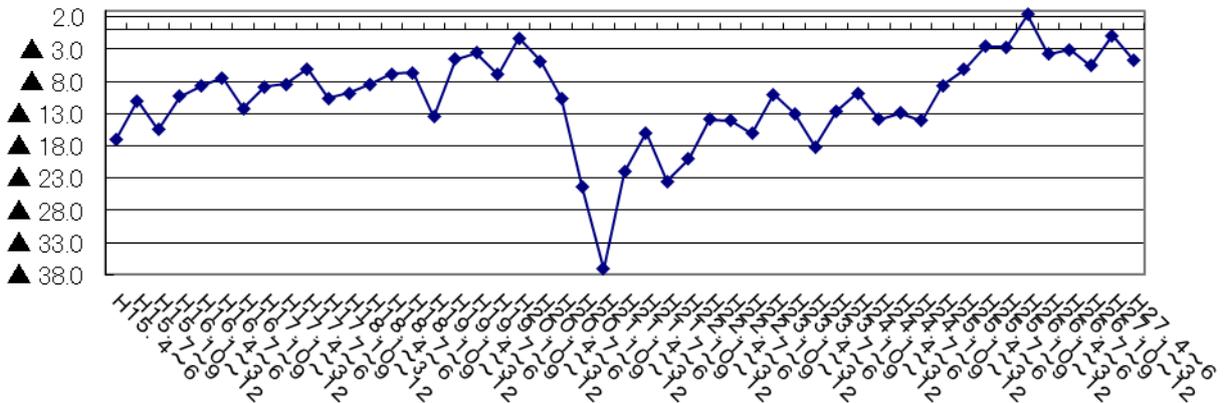
☆ 今後3ヶ月間(平成27年7~9月期の見通し)の受注販売価格・商品販売価格について

全業種DI指数▲4.7、前期比3.8ポイント減少

業種別DI指数(上位5業種)

①設備業及びその他の製造業、卸売業、小売業(飲・食料品)、飲食店0.0ポイント

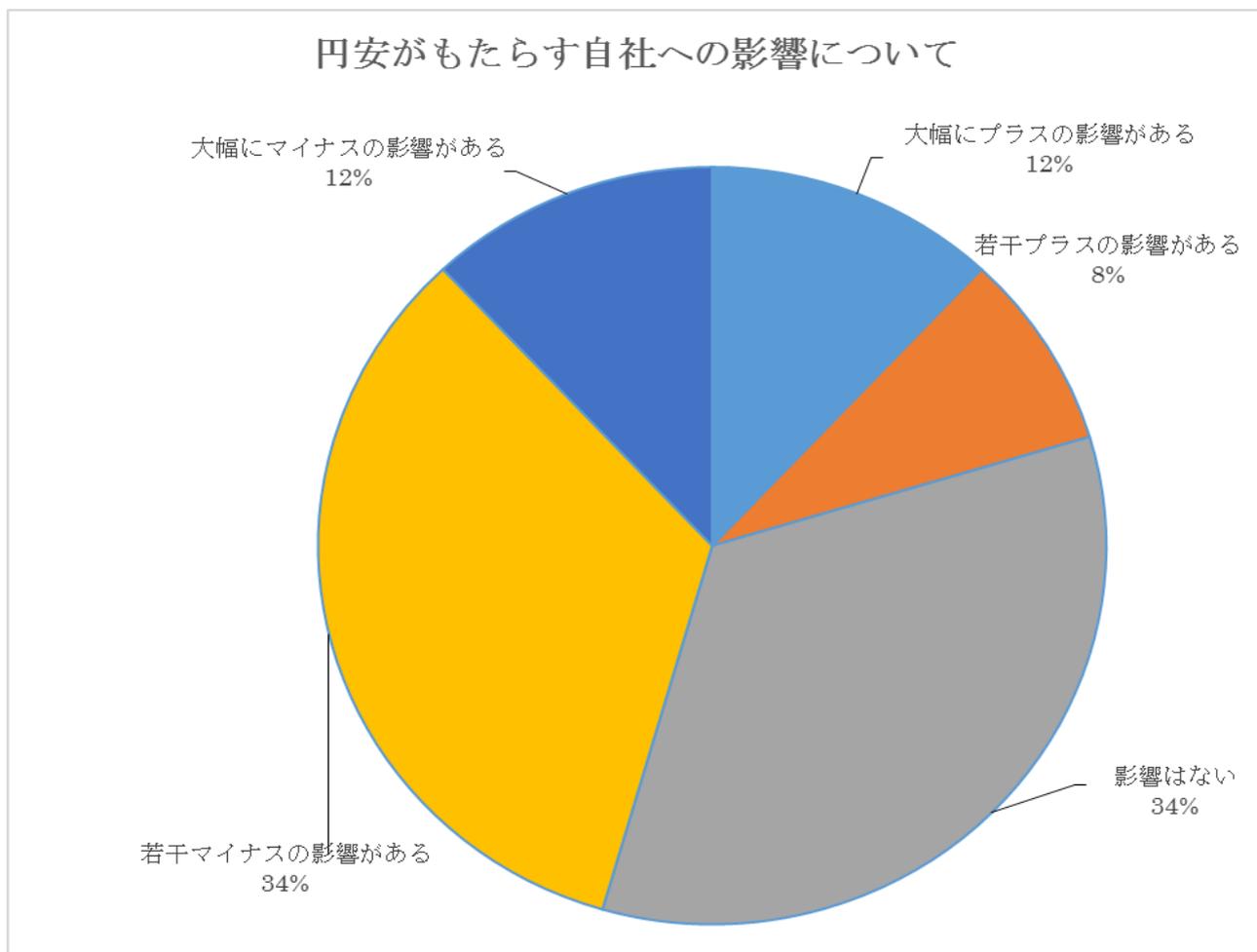
受注販売価格・商品販売価格予想(全体)



☆ 昨今の為替（円安）がもたらす自社への影響（売上・収益・経費等）について

為替（円安）がもたらす 自社への影響について	平成 26 年 10-12 月期		平成 27 年 1-3 月期	
	構成比 (%)	評価ポイント	構成比 (%)	評価ポイント
①大幅にプラスの影響がある (+2P)	12%	24	0%	0
②若干プラスの影響がある (+1P)	7%	7	6%	6
③影響はない (0)	32%	0	49%	0
④若干マイナスの影響がある (▲1P)	38%	▲38	34%	▲34
⑤大幅にマイナスの影響がある (▲2P)	11%	▲22	11%	▲22
合 計	100%	▲29	100%	▲50

平成 27 年 4-6 月期		平成 27 年 7-9 月期	
構成比 (%)	評価ポイント	構成比 (%)	評価ポイント
12%	24		
8%	8		
34%	0		
34%	▲34		
12%	▲24		
100%	▲26		



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・政府の地方創生策は期待外れです。

設備工事業

- ・太陽光発電所工事による大幅な増益が見込まれます。また、同様に売電による大幅な増益も見込まれます。

繊維品製造業

- ・ここ 2～3 年は若干良いような気もするのですが、小規模製造業者は取引先に大きく左右される会社が多いようです！！
- ・エネルギー価格が円安の影響を大きく受け、当社の収益を大きく左右する結果になります。

食品製造業

- ・株価の I T バブル時代を超えてきました。これが続いて、業界そして地域創生につながればと思います。
- ・暑くなってくると、さっぱりした物が食べたくなり、我々の業種は厳しくなっており、何か、夏向けのアイテムを出して少しでも上昇出来るように努めますが・・・。
- ・7月からのお中元に期待します。
- ・アベノミクスの恩恵は、全く感じられないままです。
- ・大手企業は好決算などところが多いが、中小企業の決算は、厳しい状況が続いており、景気回復の実感がない。
- ・円安のため、外国からの原材料による加工材料が高騰しており、利益を圧迫しております。

機械・金属製品製造業

- ・建設資材の動きは若干多くなった。また、小口の動きも出ているようだ。また、労働力は不足気味の傾向である。
- ・火山国日本で最近噴火している山に！！地震も各地にあり、2～3 日前は突風の被害！！自然の力は計り知れないものがあります。不安定な社会も似ている気がします。明るい話題が欲しいものです。
- ・労働力不足が懸念される。求人に対し応募がない。
- ・円安が進み、輸入する材料のコストメリットが減少している。また、取引先も全体的に落ち込んでいるようである。
- ・一時の好況も落ち着いてきた。
- ・前期は各社年度末の為、売上増を目指し、受注も順調でしたが、新年度に入り、各社の動向を見ての生産体制となり、当社への受注も年初（1月予想）から大幅な減少傾向に変わってきています。

化学・プラスチック製品製造業

- ・ゴールデンウィークに伴い、稼働率が低下した。(毎年のことだが)
- ・プラスチック原材料に関しては、円安を原油価格の低下で相殺出来ていたが、今後原油価格が上昇みにあり、利益への影響が懸念される。売上に関してはほぼ横ばい、労働力は不足ぎみである。
- ・足利工場の製品を他の工場へ移管したため、注文数が減少した。また、24時間生産から14時間生産ぐらいの注文になりました。

その他の製造業

- ・相変わらず材料は高騰している。特に原木(ムク材)。使用材料を変えて対応しているが、難しくなりつつある。消費増税の影響はあり、消費の冷え込みは感じる。
- ・輸入商品を扱っているのので、円の価格が日本にとっても、当社にとっても妥当であると良い。
- ・受注へ減っています。先の見通しも良くありませんが、販売価格の値上げ、あるいは維持することで、コストアップを吸収したい。

卸売業

- ・5~6月は極めて悪い。

小売業(飲・食料品)

- ・原油で作られるプラスチック製の包材、運送費の値上がり、雨不足による農産物の高騰など仕入価格が高いので大変です。
- ・変わらずの悪い状況が続いています。
- ・原材料の値上げが止まらず、価格に反映できずにいるので大変です。商品価格の値上げを考えなければと思っています。

その他の小売業(大型店含む)

- ・卸価格が為替によって変動するので、安定した利益が得られない。
- ・苦しい商売になっているが、そうかと言って何もしなければダメ。企画したのには良かった。
- ・大きな変化はないと思います。
- ・株価は上昇しているのに、売上が減少しています。インターネット販売の影響が多分にあるのではないのでしょうか?

飲食店

- ・急に暑くなったせいか、ドリンクの売上が伸びました。
- ・仕入価格は、少しづつ2年前ぐらいからずっと上昇しています。
- ・一進一退でしょうか・・・。
- ・7~9月は毎年売上が減る時期です。
- ・売上げの低い日が増加している。やはり、増税が影響しているのか?
- ・テレビ等では、大企業の業績が過去最高という言葉をよく耳にしますが、相変わらず地方では景気が上向いたという実感がありません。

サービス業

- ・今年4月から、かなり客数が減少している。
- ・安倍さんになって、生活物資は上がるし、どうしようもない時が来ると思われる。安倍さんを下さなければ、良くならないと思われる。

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成27年4月～6月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合先 佐野商工会議所経営支援課 TEL（代表）0283-22-5511

